

事後評価シート

調査研究課題名	政策効果の分析システムに関する研究 空間経済学の手法を応用した国際物流需要予測モデルの開発
担当者	元研究調整官 水谷 誠 前研究調整官 國田 淳 研究官 檜垣 史彦 前研究官 蹴揚 秀男 前研究官 太田 隆史
当初目標と目標達成度	本研究では、今後の経済連携協定の進展に伴う交易条件の変化や、交通政策による輸送費用削減を織り込んだ国際物流需要予測を行うために、空間経済学の手法を応用したモデル（空間的応用一般均衡モデル）をベースとした国際物流需要予測モデルを構築し、各種シナリオにおける国際物流需要を予測することができた。
調査研究内容の妥当性	本研究は、地域間の輸送費を考慮した空間的応用一般均衡モデルを構築するとともに、5年ごとの資本移動を表現するモデルを組み合わせることにより、時間の流れを考慮した国際物流需要予測を試みたものであり、新規性に富んだ研究内容である。
調査研究の仕組みの妥当性	研究の推進にあたっては、公共投資の評価、一般均衡分析、産業連関分析等に係る第一線の研究者からなるワーキンググループを開催し、十分に議論しながら研究を進めた。
成果と活用	成果を土木学会土木計画学研究発表会（H17春、H18春）にて発表した。
その他	PRI Review 第16号（2005年春季号、中間報告）、PRI Review 第20号（2006年春季号）に掲載済み。
意見	